

クリスマスを彩るヘンデル「メサイア」レクチャー(解説:鈴木優人)

(名前:)

メサイア(μωσν) = ()語で「()を注がれた者」という意味。

()語では、()(Χριστος)、つまり()。

1 ヘンデルの「メサイア」はどんな曲？

()の言葉を集めた()の歌詞に、

ジョージ・フレデリック・ヘンデル George Frideric Handel が 1741 年に作曲した()。

2 ヘンデルはどんな人？

()と同じ 1685 年生まれ。ザクセンの()に生まれた。

1706 年、()に行き、オペラを吸収した。

1710 年、()選帝侯の宮廷楽長となったが、

1712 年には()に移住し、1727 年には正式に帰化した。

最初はオペラ作曲家として活躍するが、1740 年を境に活動が変わってゆく。

歴史ものの代表的なオペラ:()、()

ヘンデル最初のオラトリオ:()※メサイアと同じ、ジェネズの歌詞

「メサイアは」聖書のパステッチョ？

多作家で知られ、「メサイア」はなんと()日間で書き上げた。

ヘンデルの総作品数()以上／オペラ()本／オラトリオ()本

3 メサイアはどんな歌詞？

全体は3部にわかれている。(第1部～第3部の3部構成)

()の歌詞をあまり使わず、()の視点を重視している。

第1部(序曲～第18曲): メシアの()と()、メシアの宣教

- ・ 序曲
- ・ 第8曲 O thou that tellest good tidings to Zion
- ・ 第16曲 Rejoice greatly

第2部(第19曲～第39曲): メシアの受難と復活

- ・ 第23曲 All we like sheep
- ・ 第36曲 Why do the nations
- ・ 第39曲 Hallelujah

第3部(第40曲～第47曲): メシアによる救い

- ・ 第43曲 The trumpet shall sound
- ・ 第47曲 Worthy is the Lamb - Amen

4 バッハ・コレギウム・ジャパンはどんなグループ？

バッハなどのバロック音楽を()を用いて、作曲家の意思になるべく寄り添うべく、

鈴木雅明によって1990年に作られた()と()。

2013年、約200曲現存するバッハの()全曲録音を18年がかりで完成させる。

注目の楽器！

- ・ トランペット ()や()を用いない超絶技巧の楽器
- ・ ヴァイオリン ()の()でできた弦を()の()で弾く楽器
- ・ チェンバロ ヘンデル自身が弾いた楽器。()を担当

全35問中、何問正解しましたか？

クイズの空欄を全て埋められれば、あなたも『メサイア』博士に！

レクチャー動画では、解答の全てを紹介しているので、繰り返し確認してみよう。